

Acer LCD モニタ

ユーザーズガイド

Copyright © 2017. Acer Incorporated.
All Rights Reserved.

Acer LCD モニターユーザーガイド
初版発行：10/2017

改訂または変更を個人に通知する義務を負うことなく、本書に記載の情報に対する変更を定期的に行うことができるものとします。このような変更は、このマニュアルまたは補足文書および出版物の次版に組み込まれます。当社は、本書の内容に関して、明示または黙示の表明および保証を行わないものとし、また、特に特定の目的に対する市販性または適合性の暗黙の保証を否認するものとします。

以下に提供するスペースにモデル番号、シリアル番号、購入日および購入場所情報を記録してください。シリアル番号とモデル番号は、コンピュータに貼付されたラベルに記録されています。装置についてのお問い合わせには、シリアル番号、モデル番号と購入情報を含める必要があります。

本書のいかなる部分も、Acer 社の書面による事前の許可なしに、任意の形式または任意に方法で、電子的に、機械的に、コピーしたり、録画したり、または、他の方法で、再生したり、検索システムに保存したり、転送したりすることはできません。

Acer LCD モニターユーザーガイド

モデル番号： _____

シリアル番号： _____

購入日： _____

購入場所： _____

Acer および Acer のロゴは、Acer 社の登録商標です。他の会社の製品名または商標は、識別目的のために本書で使用されており、それぞれの会社に帰属しています。

LCD モニタに関する特別な注意

以下の症状は LCD モニタには正常の状態です、故障ではありません。

- 蛍光灯の特性により、初めて使用する間に画面がちらつくことがあります。電源スイッチをオフにしてから再びオンにし、ちらつきが消えることを確認してください。
- 使用しているデスクトップパターンによっては、画面の輝度にわずかにむらが生じることがあります。
- LCD 画面には 99.99% 以上の有効ピクセルがあります。0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
- LCD 画面の特性により、同じ像が何時間も表示されているとき、画像を切り替えた後に前の画面の残像が残っていることがあります。この場合、画像を切り替えたり電源スイッチを数時間オフにすることによって、画面はゆっくりと元の状態に戻ります。

安全と快適さを得るための情報

安全に関する注意事項

この操作説明書をよくお読みください。本書を保管して、必要に応じて参照してください。製品にマークされたすべての警告と指示に従ってください。

モニタを洗淨する

モニタを洗淨するときは、以下のガイドラインに従ってください。

- 洗淨する前、常にモニタのプラグを抜いてください。
- 柔らかい布を使用して、画面とキャビネットの前面と側面を拭きます。

デバイスを接続 / 切断する

LCD モニターに電源アダプターを接続および切断するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 電源アダプターを AC 電源コンセントに接続する前に、モニターがベースに取り付けられていることを確認してください。
- ケーブルを接続したり、電源アダプターを取り外す前に、LCD モニターとコンピューターの両方の電源が切断されていることを確認してください。
- システムに複数の電源がある場合は、電源からすべての電源アダプターを取り外して、システムから電源を切断します。

アクセス可能性

電源コードを差し込むコンセントは、装置オペレータのすぐ傍にあることを確認します。装置から電源を取り外す必要があるとき、必ずコンセントから電源コードを抜いてください。

耳の安全

聴力を守るために、以下の指示に従ってください。

- 音量は、はっきり心地よく、歪みなく聞こえるようになるまで徐々に上げてください。
- 音量レベルを設定した後は上げないでください。
- 高い音量で音楽を聴く時間を制限してください。
- 回りの騒音を遮るために、音量を上げることは避けてください。
- 傍にいる人の話し声が聞こえない場合は、音量を落としてください。

警告

- 本製品を水気のあるところで使用しないでください。
- 本製品を不安定なカート、スタンドまたはテーブルの上に置かないでください。製品が落ちて、ひどい損傷を受けることがあります。
- スロットや開口部は換気のために設けられ、製品の信頼できる操作を確実にし、過熱から保護しています。これらの開口部を塞いだり、カバーを掛けたりしないでください。製品をベッド、ソファ、ラグまたはその他の類似面に置いて、開口部を塞がないようにしてください。本製品をラジエータやヒートレジスタの傍または上に置いたり、適切な換気が提供されないはめ込み式家具などに取り付けたりしないでください。
- いかなる種類の物体もキャビネットのスロットを通して本製品内部に押し込まないでください。危険な電圧ポイントやショートする部品に触れて、火災や感電の原因となります。製品の上または内部には、いかなる種類の液体もこぼさないでください。
- 内部コンポーネントが損傷したりバッテリーの液漏れの原因となるため、製品を振動する面に設置しないでください。
- スポーツや運動が行われていたり、または振動のある環境下で本製品を使用しないでください。内部装置が予期せずショートしたり、損傷する原因となります。

電力を使用する

- 本製品は、マーキングラベルに示されたタイプの電源から操作する必要があります。使用可能な電源のタイプが分からない場合、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。コードが踏まれる可能性のある場所に本製品を設置しないでください。
- 本製品に延長コードを使用する場合、延長コードに差し込まれた装置の合計アンペア定格が延長コードのアンペア定格を超えないようにしてください。ま

た、コンセントに差し込まれたすべての製品の合計定格がフューズ定格を超えないようにもしてください。

- コンセント、テーブルタップまたはレセプタクルに多くのデバイスを差し込んで過負荷を掛けないようにしてください。システム全体の負荷は、分岐回路の負荷の 80% を超えてはいけません。テーブルタップを使用する場合、負荷はテーブルタップの入力定格の 80% を超えないようにする必要があります。



.....

警告！アース用ピンは安全のために用意されています。正しくアースされていないコンセントを使用すると、感電や負傷の原因となります。



.....

注：アースされたピンは、近くにある他の電気デバイスによって生成された予期せぬノイズから保護するために提供されています。これらのノイズは本製品のパフォーマンスの障害となります。

製品の修理

本製品を自分に修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧ポイントまたはその他の危険にさらされることがあります。すべての修理は正規のサービススタッフに依頼してください。

以下の場合、コンセントから本製品のプラグを抜き、正規サービススタッフに修理を依頼してください。

- 電源コードまたはプラグが損傷、切断または擦り切れた
- 製品に液体が入った
- 製品が雨または水にさらされた
- 製品が落下した、またはケースが損傷した
- 製品のパフォーマンスに著しい変化が見られる場合、修理の必要性がありません。
- 操作指示に従っても製品が正常に動作しない



注: 操作指示でカバーされているコントロールのみ調整してください。他のコントロールを不適切に調整すると損傷し、製品を正常の状態に復元するのに技術者の莫大な労力が必要となります。

潜在的に爆発性の環境

潜在的に爆発性の環境にいるときはデバイスのスイッチをオフにし、すべての記号と指示に従ってください。潜在的に爆発性の環境には、通常車両のエンジンをオフにするように指摘される場所を含みます。そのような場所で火花が出ると爆発または火災の原因となり、負傷したり最悪の場合死を招くことがあります。ガソリンスタンドのガスポンプの傍では、デバイスのスイッチをオフにしてください。燃料貯蔵庫、倉庫、配送エリア、化学プラント、または爆破作業を行っている場所では、無線機器の使用に関する制限を守ってください。潜在的に爆発性の環境のある場所は、しばしば(しかし常にではない)マークされていることがあります。これには、船舶の主甲板の下、化学薬品の中継施設または保管施設、(プロパンまたはブタンガスなどの)液化石油ガスを使用する自動車、空気に穀物、粉塵または金属粉などの化学薬品または粒子を含む場所が含まれます。

安全に関する追加情報

お使いのデバイスとその付属品には小さな部品が含まれています。それらの部品は子供の手の届かない場所に保管してください。

LCD 画素声明

LCD 装置は高精度の製造技術で生産されています。

それにも関わらず、一部の画素が発行しなかったり黒または赤いドットで表示されることがあります。この症状は録画された画像に影響を与えることなく、誤動作を構成するものではありません。

快適に使用するためのヒントと情報

コンピュータのユーザーは、長時間使用した後に目の疲れや頭痛を訴えることがあります。また、コンピュータの前で長時間作業することで身体的な負傷の危険にも会います。長い作業時間、悪い姿勢、劣悪な作業週間、ストレス、不適切な作業条件、個人的な健康およびその他の要因などは、身体的負傷の危険を大幅に高めています。

間違ったコンピュータの使用は、手根管症候群、腱炎またはその他の筋骨格症病の原因となることがあります。次の症状が手、手首、腕、肩、首または背中に現れません。

- しびれ間、または焼けるような感じまたはチクチクする感じ
- 痛み、苦痛または圧痛
- 疼痛、腫れまたはずきずきする痛み
- 筋肉の凝りまたは緊張
- 寒気または脱力感

これらの症状が現れたり、コンピュータの使用に関するその他の再発性または持続性の不快感または疼痛を感じた場合、直ちに医師の診察を受け、会社の健康安全部門に知らせてください。

次項では、より快適にコンピュータを使用するためのヒントを上げます。

快適帯を見つける

モニタの表示角度を調整し、フットレストを使用し、または座高を上げることによって快適帯を見つけ、最大の快適さを達成します。次のヒントに注意してください。

- 1つの固定した姿勢を長く保たないようにする
- 前屈みになったり後ろにもたれかかったりしない
- 脚の筋肉の張りを取るために、定期的に立ち上がって歩き回る

目のお手入れ

長時間の凝視、正しくないメガネやコンタクトレンズの着用、ガラガラする、過剰な部屋の照明、焦点の合っていない画面、きわめて小さな活字、低コントラストディスプレイは目にストレスを与えます。以下の各項では、目の疲れを和らげる方法に関して推奨いたします。

目

- 目を頻繁に休ませる。
- モニタから目を離したり遠くの一点に焦点を合わせることにより、定期的に目を休ませる。
- 頻繁に目を瞬かせて目が乾かないようにする。

ディスプレイ

- ディスプレイは常にきれいにしておく
- ディスプレイの中央を見ているとき目が下を向くように、頭をディスプレイの上端よりわずかに高くなるようにする。
- テキストが読みやすくグラフィックスがくっきり見えるように、ディスプレイの明るさとコントラストを快適なレベルに調整する。
- 以下の方法でぎらつきと反射を抑えます。
 - ディスプレイの側面が窓や光源を向くように、ディスプレイを設置する
 - カーテン、日よけまたはブラインドを使用して、部屋の明かりを最小限に抑える
 - タスクライトを使用する
 - ディスプレイの表示角を変更する
 - ぎらつき防止フィルタを使用する
 - ディスプレイの上端から端まで広がるボール紙など、ディスプレイパイザーを使用する

- ディスプレイを見にくい角度に調整しないようにする。
- 開いた窓などの明るい光源を長時間見ないようにする。

適切な作業習慣を付ける

次の作業習慣を付けて、コンピュータをより楽に、また高い生産性を上げられるように使用します：

- 短い休憩を定期的に、またしばしば取る。
- 手足の屈伸運動をときどきする。
- できるだけ頻繁に新鮮な空気を吸う。
- 定期的に運動をして、健康な体を保つ。

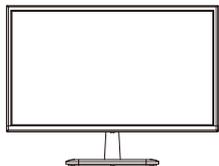
コンテンツ

開梱.....	1
ベースの取り付け / 取り外し	2
画面の位置の調整.....	4
電源コードの接続.....	5
安全注意事項.....	5
ディスプレイのクリーニング.....	6
コネクタのピン割り当て.....	7
標準タイミング表.....	8
取り付け.....	9
ユーザー制御.....	10
トラブルシューティング.....	19

開梱

箱を開梱するときは、次の品目が揃っていることを確認し、将来の出荷に備えて梱包材を保管してください。

- LCDモニター



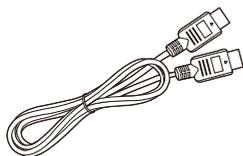
- クイックスタートガイド



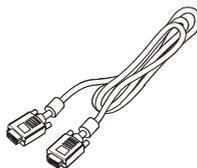
- 電源アダプター



- HDMIケーブル
(オプション)



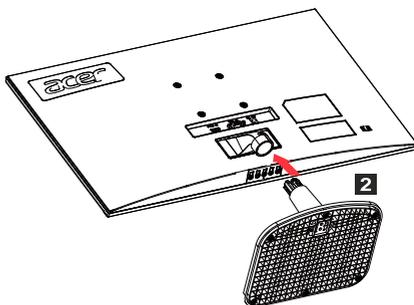
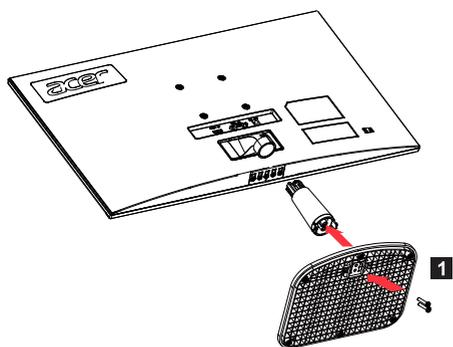
- D-Subケーブル
(オプション)



ベースの取り付け/取り外し

注：最初にモニターとベースを開梱します。モニターの表を下向きにして、安定した面に慎重に置きます。画面を傷つけないように、布のパッドを使用してください。

1. モニタースタンドアームをベースに取り付けます。
2. ベースをモニタースタンドベースのアームに固定します。

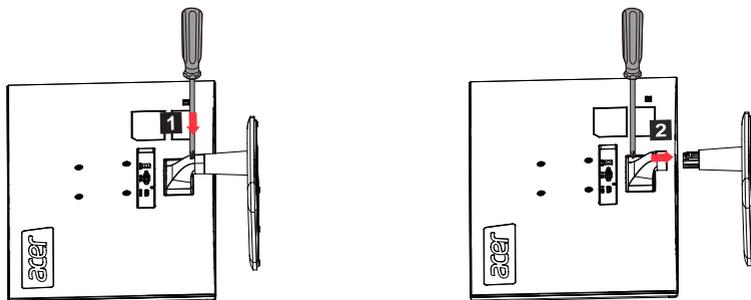


注：壁取り付けキットを使用する場合は、VESA取り付けキット（75 mm×75 mm）とM4×10（L）mmネジを使用してモニターを壁に固定することをお勧めします。

これらの指示に従って、モニターからベースを取り外します。

注：モニターの表を下向きにして、平面に慎重に置きます。画面を傷つけないように、布のパッドを使用してください。

1. ドライバーでリリースラッチを押
2. リリースラッチを押した後、モニターからベースを取り外します。

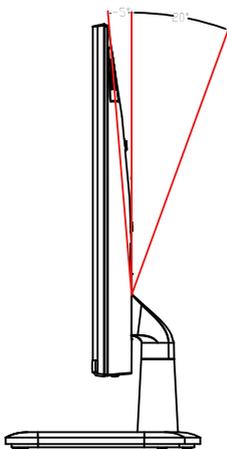


画面の位置の調整

ディスプレイの傾きを調整して表示位置を最適にします。

- 傾き

傾斜範囲については、下図を参照してください。



電源コードの接続

(I) AC電源

- 最初に、使用している電源コードがお住まいの地域に必要な正しいタイプであることを確認してください。
- このモニターはユニバーサル電源を使用し、AC100/120ボルトまたは220/240ボルトで動作します。ユーザーは調整を行う必要はありません。
- 電源コードの一方の端をAC電源入力に差し込み、もう一方の端をAC電源コンセントに差し込みます。
- 120ボルトが使用される地域：
SVTタイプのリード線と10アンペア/125ボルトのプラグなどUL準拠の電源コードキットを使用します。
- 220/240ボルトを使用する地域（米国以外）：
H05VV-Fコードと10アンペア、250ボルトのプラグで構成される電源コードキットを使用しますこの電源コードキットは、機器を設置する国の安全基準を満たしている必要があります。

(II) DC電源

- メーカーが提供する電源アダプターを使用します。仕様は次のとおりです。

22 inch/24 inch	入力端子: 100-240 V	出力12 V $\overline{\text{---}}$ 2.0 A
27 inch/32 inch	入力端子: 100-240 V	出力12 V $\overline{\text{---}}$ 3.5 A

安全注意事項

- モニターやその他の重いものを電源アダプターの上に置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- モニターを雨、過度の湿度、ほこりにさらさないでください。火災や感電の原因になります。
- 通常の熱放散を促進するために、モニターのスロットや開口部を覆わないでください。換気の良い場所にモニターを置きます。
- 過度に明るい背景の前にディスプレイを置いたり、直射日光やその他の光源がディスプレイの表面を照らす可能性のある場所にディスプレイを置かないでください。まっすぐ前を見るときは、モニターを視線のすぐ下に置きます。
- モニターの取り扱いには細心の注意を払ってください。
- ディスプレイにぶつからないようにしてください。また、画面は壊れやすいため、画面の表面を傷つけないでください。

- モニターの損傷を防ぐため、スタンドを使用してモニターを持ち上げないでください。

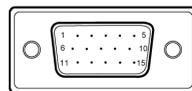
ディスプレイのクリーニング

モニターをクリーニングするときは、注意深く指示に従ってください。

- クリーニングの前に、モニターの電源アダプターを取り外します。
- 柔らかい布を使用して、画面とケースの前面と側面をそっと拭きます。
- 液体を直接画面やケースにこぼさないでください。
- LCDモニターの画面やケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用しないでください。
- Acerは、アンモニアまたはアルコールベースのクリーナーの使用によって引き起こされた損傷について責任を負いません。

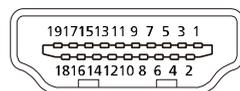
コネクタのピン割り当て

15ピンカラーディスプレイ信号ケーブル



スレッディング	説明	スレッディング	説明
1.	レッド	9.	+5 V
2.	グリーン	10.	ロジックグラウンド
3.	ブルー	11.	モニターグラウンド
4.	モニターグラウンド	12.	DDC連続データ
5.	DDCリターン	13.	ライン同期信号
6.	レッドグラウンド	14.	フィールド同期信号
7.	グリーングラウンド	15.	DDC連続クロック
8.	ブルーグラウンド		

19ピンカラーディスプレイ信号ケーブル*



スレッディング	使用	スレッディング	使用
1.	TMDSデータ2+	10.	TMDSクロック+
2.	TMDSデータ2マスク	11.	TMDSクロックマスク
3.	TMDSデータ2-	12.	TMDSクロック-
4.	TMDSデータ1+	13.	CEC
5.	TMDSデータ1マスク	14.	予約済み（機器に接続されていません）
6.	TMDSデータ1-	15.	SCL
7.	TMDSデータ0+	16.	SDA
8.	TMDSデータ0マスク	17.	DDC/CECグラウンド
9.	TMDSデータ0-	18.	+5 V電源
		19.	ホットプラグ検出

* 特定のモデルに限定

標準タイミング表

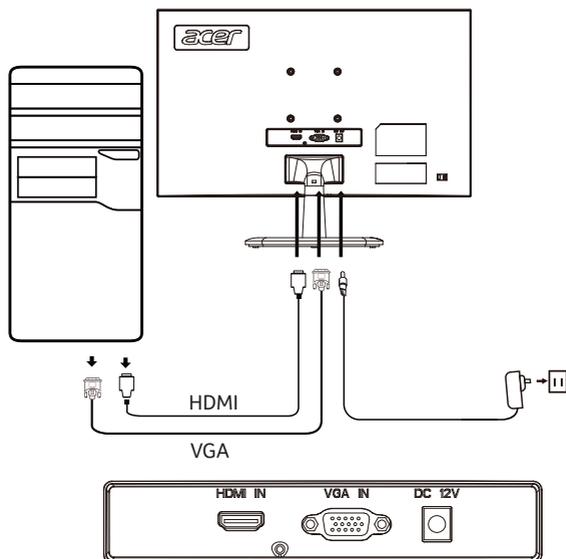
モード	レゾリューション		備考
IBM VGA	640 × 480p	60 Hz	
Apple Mac II	640 × 480p	67 Hz	
VESA	640 × 480p	75 Hz	
IBM VGA	720 × 400p	70 Hz	
SVGA	800 × 600p	56 Hz	
VESA	800 × 600p	60 Hz	
SVGA	800 × 600p	72 Hz	
VESA	800 × 600p	75 Hz	
Apple Mac II	832 × 624p	75 Hz	
VESA	1024 × 768p	60 Hz	
XGA	1024 × 768p	70 Hz	
VESA	1024 × 768p	75 Hz	
VESA STD	1152 × 864p	75 Hz	
VESA STD	1280 × 720p	60 Hz	
VESA STD	1280 × 960p	60 Hz	
VESA STD	1280 × 1024p	60 Hz	
VESA	1280 × 1024p	75 Hz	
WXGA+	1440 × 900p	60 Hz	
VESA STD	1600 × 1200p	60 Hz	
WSXGA+	1680 × 1050p	60 Hz	
VESA STD	1920 × 1080p	60 Hz	
VESA STD	1920 × 1080p	75 Hz	特定のモデルでのみ利用可能

取り付け

次の手順に従って、ホストシステムにモニターをインストールします。

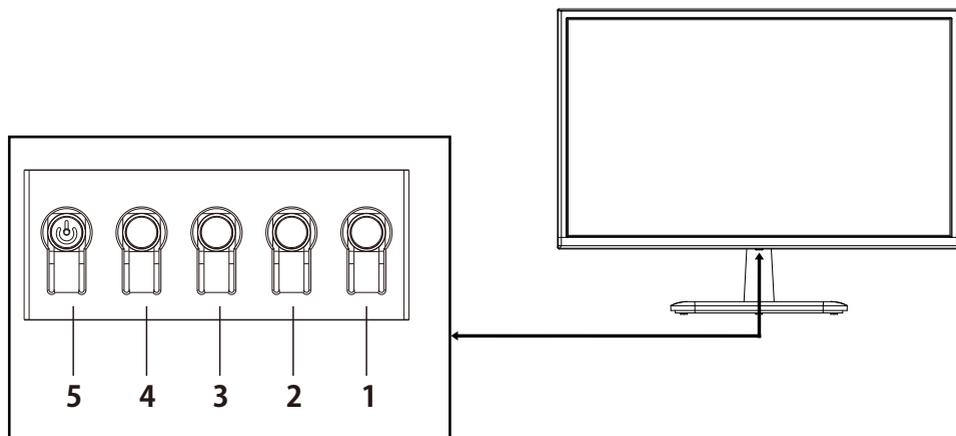
手順

1. コンピューターの電源を切り、電源コードを取り外します。
2. 2-1 信号ケーブルを接続します（VGAケーブル）
 - a. モニターとコンピューターの電源が切れていることを確認してください。
 - b. 信号ケーブルをコンピューターのグラフィックスカードポートに接続します。
- 2-2 デジタルケーブルを接続します（デュアル入力モデルのみ）
 - a. モニターとコンピューターの電源が切れていることを確認してください。
 - b. HDMIケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターのHDMIポートに接続します。
3. オーディオケーブルを接続します（オーディオ入力モデルのみ）（オプション）
4. モニターの電源アダプターをモニター背面の電源ポートに差し込みます。
5. コンピューターの電源ケーブルとモニター電源アダプターを近くのコンセントに差し込みます。



ユーザー制御

基本的な制御



番号	アイコン	説明
1		メインメニューに移動します。
2		ソースモードに入ります。
3		コントラスト調整に入ります。
4		輝度調整に入ります。
5	🔌	電源がオフの状態、ボタンを押すと本機器の電源が入ります。電源がオンの状態では、ボタンを押すと通常モード切り替えメニューに入り、3秒間長押しすると本機器の電源がオフになります。

OSD設定の調整

 注：次は一般的な参照のみを目的としています。実際の製品仕様は異なる場合があります。

OSD (On Screen Display) を使用して、LCDディスプレイの設定を調整できます。MENUボタンを押してOSDを開きます。OSDを使用して、画質、OSD位置、一般設定を調整します。詳細設定については、次のページを参照してください。

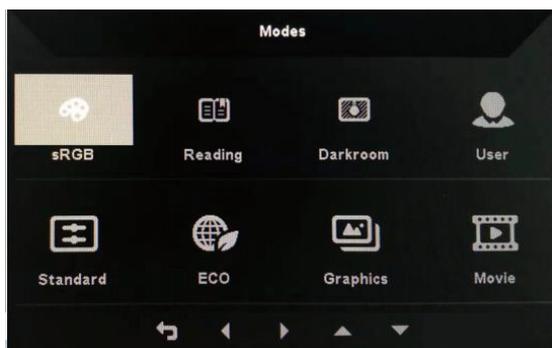
ホームページ

すべてのキーでホームページが表示されます。



モードをオンまたはオフ

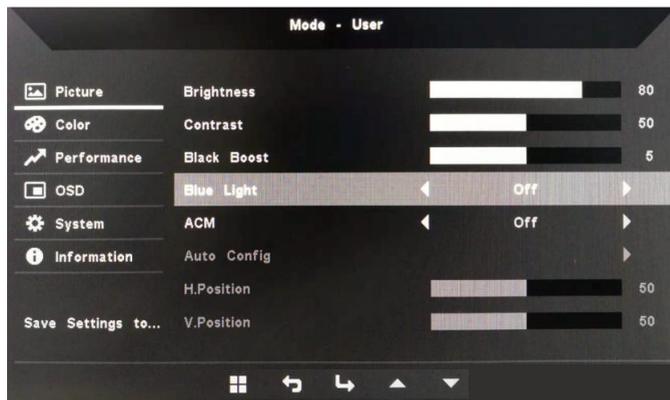
Button 5を2回押してモード制御に入り、使用するユーザー定義のプロファイルを選択します（詳細については、OSDセクションを参照してください）。



機能ページ

Button 1を2回押してメニュー機能を選択し、Button 1/2/3/4を使用して必要な設定を調整します。終了したら、Button 4を使用して前のレベルに戻るか、メニューを終了します。

画像調整



1. Button 1を2回押して、OSDを表示します。
2. Button 1/2を使用して、OSDからPictureを選択します。次に、Button 3を2回押して、調整する設定に移動します。
3. Button 1/2を使用して、スライダーを調整します。
4. Brightness: 明るさは0～100の範囲で調整できます。

 注：明暗のバランスを調整します。

5. Contrast: コントラストは0~100の範囲で調整できます。

 注：明るい部分と暗い部分の違いの度合いを設定します。

6. Blue Light: さまざまな青色光の表示比率（80%、70%、60%、50%）を調整して、青色光をフィルターします。

 注：値が大きいほど、より多くの青色光が表示されます。最適な保護のためには、低い値を選択してください。

7. Black Boost: この機能により、ディスプレイの暗いレベルが増します。黒は少なくなります。設定値が大きいほど、増加します。

8. ACM: ACM をオンまたはオフにしますデフォルトはオフです。

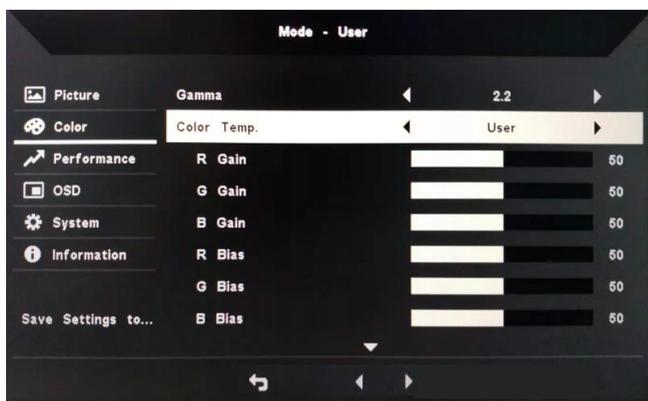
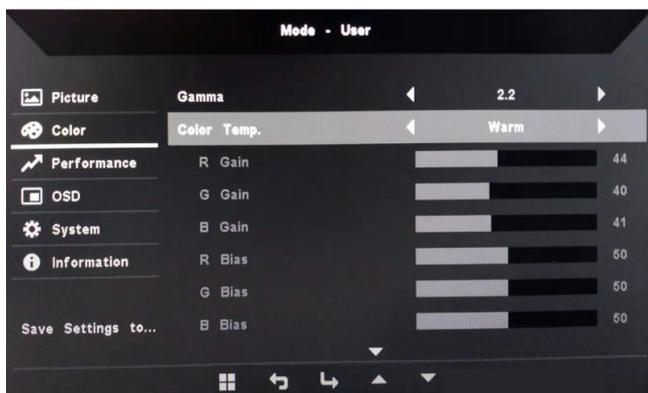
9. H. Position (アナログ入力モデルのみ)： 水平位置を0~100の範囲で調整します。

10.V. Position (アナログ入力モデルのみ)： 垂直位置を0~100の範囲で調整します。

11.Focus (アナログ入力モデルのみ)：位相範囲を0~100の範囲で調整します。

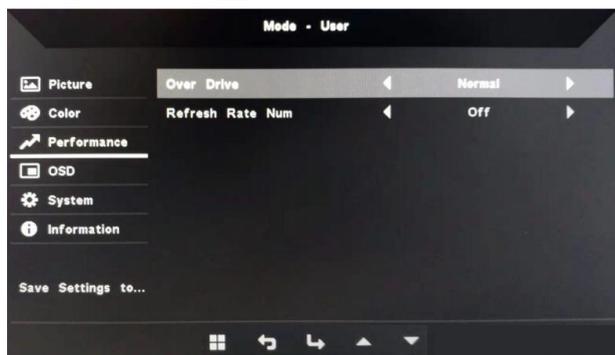
12.Clock (アナログ入力モデルのみ)： タイミング範囲を0~100の範囲で調整します。

色調整



1. Button 1をダブルクリックして、OSDを表示します。
2. Button 1/2を使用して、OSDからColorを選択します。次に、Button 3を2回押して、調整する設定に移動します。
3. Button 1/2を使用して、スライダーを調整します。
4. Gammaモードでは、明るさと色合いを調整できます。デフォルト値は2.2（Windowsの標準値）です。
5. Color Temperature: デフォルトはWarmです。Cool、Warm、Normal、Blue LightまたはカスタムUser Settingsを選択できます。
6. Modes: 優先モードを選択します。
7. sRGBモードは、DSCやプリンターなどの周辺機器とのカラーマッチング表示を改善するために使用されます。
8. Grayscale Mode: モードをオンまたはオフにします。
9. 6-axis Hue: 赤、緑、青、黄、マゼンタ、シアンの色合いを調整します。
10. 6-axis Saturate: 赤、緑、青、黄、マゼンタ、シアンの彩度を調整します。

パフォーマンス調整



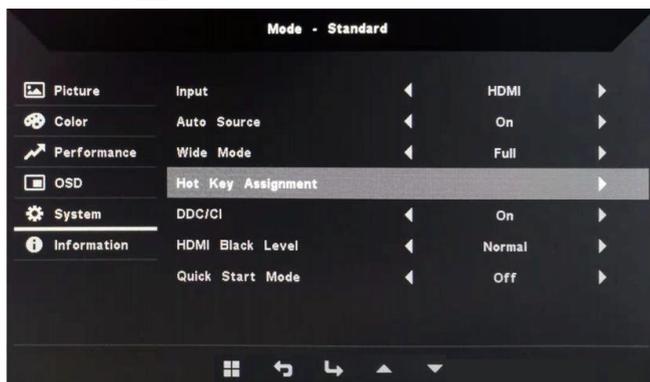
1. Button 1をダブルクリックして、OSDを開きます。
2. Button 1/2を使用して、OSDからPerformanceを選択します。次に、Button 3を2回押して、調整する設定に移動します。
3. Button 1/2を使用して、スライダーを調整します。

OSD調整



1. Button 1をダブルクリックして、OSDを開きます。
2. Button 1/2を使用して、OSDからOSDを選択します。次に、Button 3を2回押し、調整する設定に移動します。
3. Button 1/2を使用して、スライダーを調整します。
4. Language: OSDメニュー言語を設定します。
5. OSD Timeout: OSDメニューを閉じる前に遅延を調整します。
6. Transparency: ゲームモードを使用する場合は、透明度を選択します。透明度は、0%（オフ）、20%、40%、60%、または80%です。
7. OSD Lock: OSDロック機能は、OSDボタンが誤って押されるのを防ぐために使用されます。OSDロックメッセージを削除するには、メッセージが消えるまで、Button 1/2を3秒間押し続けます。OSDロックが続く場合は、Button 1/2が機能しているかどうかを確認してください。

システム調整

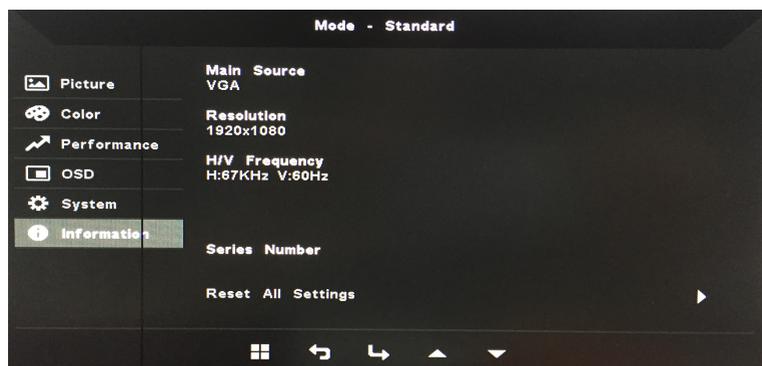


1. Button 1をダブルクリックして、OSDを開きます。
2. Button 1/2を使用して、OSDからSystemを選択します。次に、Button 3を2回押して、調整する設定に移動します。
3. Button 1/2を使用して、スライダーを調整します。
4. Input: 利用可能な入力ソースから利用可能なソースを選択します。
5. Auto Source: 利用可能な入力ソースを自動的に検索します。
6. Hot Key Assignment: Hotkey 1またはHotkey 2の機能を選択します
7. Wide Mode: 使用する画面のアスペクト比を選択します。オプションはFull ScreenとAspect Ratioです。
8. DDC/CI: モニターはコンピューターソフトウェアを使用して設定できます。

 注：DDC/CI（Display Data Channel/Command Interfaceの略）は、ソフトウェアを介してモニターコントロールを送信できます。

9. HDMI Black Level: HDMIソースの下の黒レベルを選択します。オプションはNormalおよびLowです。
10. Quick Start Mode: モニターをすばやく有効にします。

製品情報



1. 機械の基本情報を表示します。
2. Reset All Settings: すべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

トラブルシューティング

修理のためにLCDモニターを送る前に、以下のトラブルシューティングチェックリストを確認して、問題を診断できるかどうかを確認してください。

(VGAモード)

問題	状態	対処法
画像なし	LEDが点灯	<ul style="list-style-type: none"> スタンバイボタンを押してオンにします。
	LEDが消灯	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチを確認してください。
		<ul style="list-style-type: none"> AC電源アダプターがモニターに正しく接続されていることを確認します。
LEDが点滅		<ul style="list-style-type: none"> ビデオ信号ケーブルがモニターの背面に正しく接続されていることを確認します。
		<ul style="list-style-type: none"> コンピューターシステムの電源がオンになっているかどうかを確認します。
画像が異常	画像が不安定	<ul style="list-style-type: none"> グラフィックカードの仕様がモニターの要件を満たしているかどうかを確認します。満たしていない場合、入力信号の周波数が一致しない場合があります。
	ディスプレイが消える、中央に配置できない、大きすぎる、または小さすぎる	<ul style="list-style-type: none"> OSDを使用して、非標準信号のResolution、Timing、Timing Phase、H. Position、V. Positionを調整します。
		<ul style="list-style-type: none"> フルスクリーン画像が消えたら、OSDを使用して別の解像度または垂直周波数を選択します。 信号ケーブルを変更または切断したり、モニターの電源を切る前に、画像のサイズを変更して数秒間待ちます。
音声異常 (音声入力モデルのみ) (オプション)	音声が聞こえない、または音量が小さすぎる	<ul style="list-style-type: none"> オーディオケーブルがPCに接続されているかどうかを確認します。
		<ul style="list-style-type: none"> PCの音量が最小に設定されているかどうかを確認し、音量を上げてみてください。

(HDMIモード)

問題	状態	対処法
画像なし	LEDが点灯	<ul style="list-style-type: none">OSDを使用して、明るさとコントラストを最大化するか、プリセット値にリセットしてください。
	LEDが消灯	<ul style="list-style-type: none">電源スイッチを確認してください。
		<ul style="list-style-type: none">AC電源アダプターがモニターに正しく接続されていることを確認します。
LEDが点滅		<ul style="list-style-type: none">ビデオ信号ケーブルがモニターの背面に正しく接続されていることを確認します。
		<ul style="list-style-type: none">コンピューターシステムの電源がオンになっているかどうかを確認します。
音声異常 (音声入力モデルのみ) (オプション)	音声が聞こえない、または音量が小さすぎる	<ul style="list-style-type: none">オーディオケーブルがPCに接続されているかどうかを確認します。
		<ul style="list-style-type: none">PCの音量が最小に設定されているかどうかを確認し、音量を上げてみてください。